

としょかん つうしん

通巻50号

(平成21年4月)

編集・発行 印西市立大森図書館

図書館ホームページ

・パソコン から・・・

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/>

・i-mode から・・・

<http://www.library.city.inzai.chiba.jp/i/>

子どもに本を！

「子ども読書の日」と
「こどもの読書週間」

春はこどもたちの読書を
応援する季節です。4/23が
「子ども読書の日」、そして
4/23から5/12までが「こ
どもの読書週間」と定められ
ていて、図書館でも図書の展
示や楽しいクイズなど、より
本を身近に感じられるよう
な催しを行います！

「読書離れ」「活字離れ」
などが憂慮されていますが、これを機会に、読書
の楽しさ、すばらしさを味わっていただければと
思います。



児童特別展示

(大森・そうふけ図書館)

子どもの本にちなんだ展示を行ないます。

大森図書館:「あつまれ!おはなし会でよ
んだえほんたち」の本を展示しています。

そうふけ図書館:「よい絵本」に紹介され
ている本を展示しています。

図書館クイズ

(小林・小倉台図書館)

図書館の本をつかって、クイズに挑戦!
全問正解をして「本博士」を目指そう!
開催期間:4/23(木)~5/10(日)
くわしい内容は、それぞれの図書館できいてく
ださい。

おはなし会においでよ!

図書館では定期的におはなし会を
行っています。大きな絵本や紙芝
居、季節や行事にぴったりの、楽
しいおはなしをご用意してお待ち
しております。ぜひお気軽にお越
しく下さい!

大森図書館 (おはなし室)	第2・4日曜日 午前11時~
小林図書館 (遊戯室)	第4土曜日 午後3時~
そうふけ図書館 (おはなしのへや)	第1・3土曜日 午後3時~ 第2・4土曜日 午前11時~
小倉台図書館 (おはなし室)	第1・3木曜日 午後3時半~

事情で日程が変更になることもありますので、各図書館にお問い合わせ下さい。

楽しかったね！～行事報告～

おはなし会スペシャル (そうふけ図書館)

当日は、小雨が降るあいにくの天気でしたが、参加してくれた子ども達は、パネルシアターやペープサート、人形劇を楽しみました。特にペープサートの「てんぱたんてんぱたん ねずみのもちつき」では、子ども達も一緒に手拍子をして会場は盛り上がりました。
(3/22(日)実施)



図書館・これからの催し

ブックリサイクル (小倉台図書館)



保存期限の切れた雑誌や図書、または寄贈本をさしあげます。

日時：6/6(土)～7(日)

場所：小倉台図書館 集会室

お問合せ：小倉台図書館 47-5511

図書館からのお知らせ

～蔵書点検の報告～

2/23(月)～3/2(月)の間、図書館ではお休みをいただいて、蔵書点検を行いました。

資料を1点ずつノートパソコンなどでチェックして所蔵確認を行いました。全体所蔵数466,031点(図書440,079冊、雑誌13,915冊、視聴覚資料12,037点)のうち、残念ながら全体の0.33%(図書1,482冊、雑誌55冊、視聴覚資料6点、合計1,543点)の資料を所在不明として見つけることが出来ませんでした(3月17日現在)。

図書館の資料はたくさんの方に利用してもらうための大切な財産です。この財産を、有効に活用できるように、図書館職員も資料の管理に努めてまいります。また、貸出・返却など、ご利用の際は、行き違いのないようにカウンターまで資料をお持ちいただき、手続きをして下さるようお願いいたします。



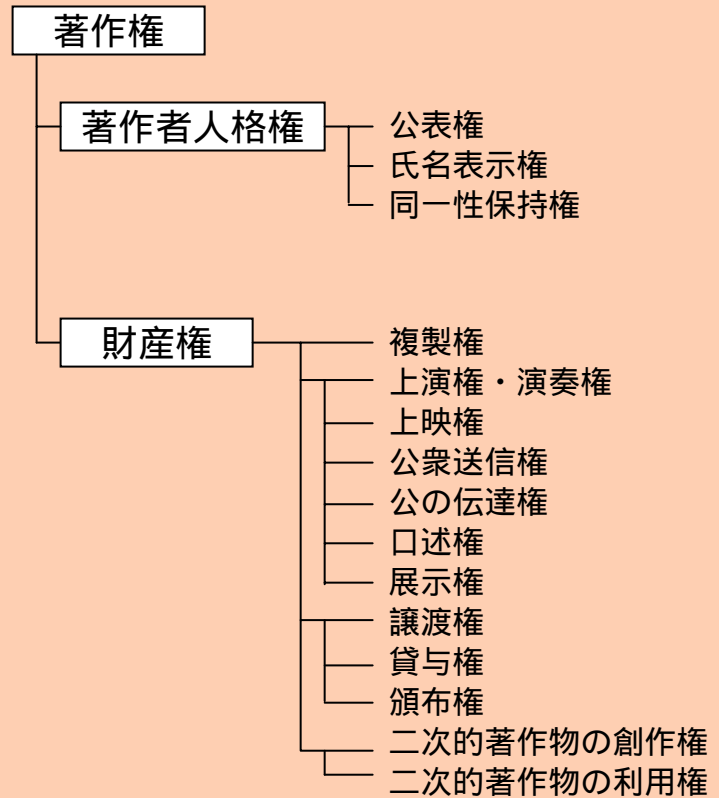
「財産権」と 「著作権者人格権」

前号までに、「著作権」の定義のお話をしましたが、今回は、著作権には具体的にどんな権利があるのか、くわしくみていきましょう。

著作者の権利である「著作権」には、大きく分けて2つの権利があります。1つは「著作権者人格権」、もう1つは「財産権」というものです。

「著作権者人格権」とは、著作者が精神的に傷つけられないようにするための権利で、著作者が著作物を公表するかどうか、するとすればどのような方法で公表するかを決める権利（「公表権」）や、著作者が自分の著作物の内容やタイトルを勝手に改変されない権利（「同一性保持権」）などがあります。

一方「財産権」は、著作者が金銭的に損害のないようにするための権利で、無断で複製（コピー）されない権利（「複製権」）や、演劇の上演やコンサートなどを一般の人に見せたり、聴かせたりすることに関する権利（「上演権・演奏権」）などがあります。



著作物を作った著作者が精神的・財産的に損害を被らないために、著作者に敬意を払って著作物を取り扱うよう気をつけましょう！

図書館 人気の本

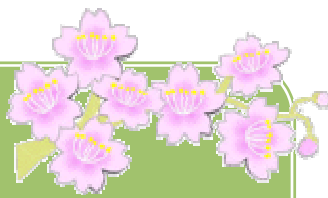
(平成21年3月27日現在)

宮部みゆき、久々の
新刊！「英雄の書」
ランクイン！

告白	湊 かなえ / 著
聖女の救済	東野 圭吾 / 著
ガリレオの苦悩	東野 圭吾 / 著
悼む人	天童 荒太 / 著
流星の絆	東野 圭吾 / 著
ホームレス中学生	田村 裕 / 著
英雄の書(上下)	宮部 みゆき / 著
イノセント・ゲリラの祝祭	海堂 尊 / 著
ゴールデンランパー	伊坂 幸太郎 / 著
おそろし	宮部 みゆき / 著

上記の本は非常に人気があり、リクエストをしていただいても長期にわたりお待ちいただくこととなります。ご了承下さい。上記のうち、ご自宅に不要になった本がございましたら是非図書館にご寄贈ください！

この本、
おすすめですよ！



- 桜の樹の下には屍体が埋まっている！
これは梶井基次郎の「桜の樹の下には」という短編の冒頭です。春の代名詞ともいえる美しい桜ですが、その威圧的とも感じる存在感や、夜に見る桜の独特の妖しさを感じ取られる方も多いのではないのでしょうか？
ということで今回は「桜」が登場する小説の紹介です。

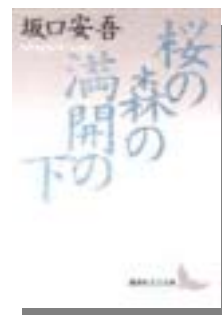


檸檬 梶井 基次郎 / 著 (新潮社)

上記で紹介した「桜の樹の下には」が収録された短編集です。梶井さんの作品を読むと、若者独特の焦燥感というのを感じます。この「桜の樹の下には」は、文庫本でも4ページ程度の短い作品で、小説というよりも抒情詩といった印象が強く残ります。ある男性が、桜の異常なまでの美しさを直視することが出来ず、その美しさは桜の樹の下に屍体が埋まっているためだと思うことで、その姿を受け入れられるといった内容で、言葉遣いはごつごつした荒削りさを感じさせるのですが、全体を通して見ると、なぜか不思議な透明感を感じます。

桜の森の満開の下 坂口 安吾 / 著 (講談社)

坂口安吾による短編集。表題作の「桜の森の満開の下」は、ある山賊と彼がさらってきた女の話。山賊は女の虜となり、言われるがまま山を降りて都に住みます。そこでやはり女に命令され、様々な人を殺し首を持ち帰る生活を続けます。しかし、都の生活になじまない山賊は女を説得して山に帰ろうとするのですが…。大人のための寓話といった内容で、山賊は山で見た美しくも嫌悪感を捨てきれない桜と女を重ね合わせます。短い作品ですが、その言葉遣いや心情の表現などの巧みさにはっとさせられます。



ぼくらのミステリな日常 若竹 七海 / 著 (東京創元社)

この作品は、とある会社の社内報で連載される短編小説(もちろん架空です)を、その掲載された経緯と掲載後の後日談をプロローグとエピローグとして1冊にまとめた連作短編集です。その第1作としてあるのが「桜嫌い」という作品。主人公の「ぼく」が花見の席で女性の先輩である籐子から聞いた、籐子が昔住んでいたアパートで起こった放火事件を、話の中に出てきた桜の花びらのエピソードをヒントに事件の真相を暴くといった内容。個人的に、花見とそのアパートに咲く桜の情景が妙に印象深い作品でした。ちなみに、この作品集、最後の最後であっと驚く真相が待ち構えていますよ！

表紙画像は出版社に許諾を得て掲載しております。

図書館についてのお問い合わせは、
もよりの図書館まで！

- | | | |
|---------|-----|---------|
| 大森図書館 | ・・・ | 42-8686 |
| 小林図書館 | ・・・ | 97-0005 |
| そうふけ図書館 | ・・・ | 45-2566 |
| 小倉台図書館 | ・・・ | 47-5511 |

編集 後記

先日、友人たちと飲み会を開いた際、誕生日の近い僕のために、みんなが内緒でパースディ・ケーキを用意してくれていました。照れくさいやら、嬉しいやら…。
さて、4月に入り、出会いの季節がやってきました。新しく知り合った人が、誕生日を祝ってくれるような友人になるといいですね！
(T・A)